

正 観

2021年 12月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会 長 遠藤 勝雄 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

11月6、7日に仙台市で行われた国際社会人剣道クラブ2021年度全国例会は、関係者の皆様のご尽力と参加された皆様のご協力により無事に開催できましたことを心よりお喜び申し上げます。

大会会長の川瀬能男先生、審判長の遠藤勝雄先生からは参加者への温かい激励のご挨拶があり、選手たちの士気を高めていただきました。また、東北地区クラブ会員の皆様には事前の準備や大会当日の運営などに携わっていただき、大会の規模は例年より縮小されたとはいえ、団体戦で優勝するなど盛り上がりのある思い出深い大会にさせていただいたことに感謝申し上げます。

次回の地区例会では全国例会の報告会と七段昇段者のお祝い会を兼ねて、来年1月末に米沢市で開催いたしますので是非ご参加ください。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ

幹事長 三 條 貞 夫



1 宮城県仙台市例会の報告

晩秋を迎え、辺りが紅葉に染まる10月16日(土)、阿部東悦先生のご尽力により宮城県仙台市東六郷コミュニティセンターにおいて今年度第2回目の東北地区クラブ例会を開催いたしました。新型コロナウイルスの予防対策をしっかりと行い、間近に迫った全国例会に向けての顔合わせと強化も兼ねて活気に満ちた例会となりました。

開会にあたっては遠藤勝雄会長はじめ先生方が、苦しい環境の中でもより一層効率よく良い稽古ができるようにとご配慮くださり充実した例会となりました。

「11月の全国例会はコロナ禍の影響で厳しい条件下での開催となりますが工夫と対策を凝らして盛会となるように皆で協力しあいましょう」とのご挨拶があり、引き続き遠藤近志事務局長より準備の進捗状況の説明がありました。この状況のため今回は国際親善剣道大会は開催せず国外からの参加はないものの、100名を超える多くの参加申し込みがあり東北地区クラブからは28名の出場となるとのことでした。お忙しい中、着々のご準備を進めてくださっている事務局の方々に心から感謝いたしたいと思えます。

研修の始まりは佐藤孝康先生に講師を務めていただき長きにわたる修行の経過を交えながら「面打ちの極意」についての講義をいただきました。



《 講義 》

着装 首筋を伸ばして顎を少し引く

礼法 相手から目を離さない

構え
. . . .

残心 1本1本の技に全身全霊を込めて打ち切る。しっかり姿勢をつくり左足を作って、自分の間、間合い、機会を捉えて打ち切る。打ったらそのままの姿勢をしばしとどめて残心。

そして「大切なのは. . . .」と、日頃の稽古への取り組み方を省みるお言葉をいただきました。

《 実技 》

① 切り返し 初めの面は打ち間に入って左足を動かさないで打つ。

② かかり手が遠間から少しづつ入る→機会の時に元立ちが剣先を中心から少し外す。→かかり手は瞬時に打って体を寄せる。

刃筋を立てること。左手の手の内を一瞬締めること。

③ かかり手が遠間から少しづつ入る→元立ちが面を打ってくる→乗り返して面を打ち切る。

その後遠藤範士、曾根先生、佐藤先生、三條先生の4名の八段の先生に元に立っていただいていた指導稽古、お互いの自由稽古は約1時間、殊の外熱の入ったものとなりました。

ご指導くださいました遠藤会長はじめ曾根先生、佐藤先生、三條先生、並びに立派な会場をご高配賜りました阿部東悦先生、ご参加くださいました会員の皆様に改めて感謝申し上げます。

(1) 参加者 (敬称略・順不同)

遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、阿部東悦、渡邊初男、井上 均、
遠藤近志、三枚橋竹人、佐藤弘明、佐々木幹彦、細矢国昭、小淵俊江、渡邊一仁、
小林房雄、平子雅道、江俣和代(見学)

2 全国例会について

期 日 令和3年11月6日(土)～7日(日)

会 場 本山製作所青葉アリーナ(仙台市青葉体育館)

九州から東北まで102名の会員の参加によって開催されました。懇親会が無かったものの結構の盛り上がりで無事終了いたしました。事故も無く盛会に終わったのも協力頂いた東北地区クラブの皆様のおかげです。また、協賛等いろいろご支援いただき本当にありがとうございました。



試合の結果を報告いたします。優勝、準優勝、三位の順です。

女子五段以下⇒佐藤千春(東海)、大串真由美(関東)、大塚桜子(関東)

女子六段以上⇒岩崎美穂(中国)、古濱久美子(東北)、安田由美子(近畿)

男子個人戦⇒鈴木健太(東北)、菊池雅樹(東海)、浅野貴博(近畿)

男子個人戦シニア⇒田頭敬史(近畿)、羽鳥信一(関東)、蛭子稔(近畿)

団体戦⇒東北A(鈴木・三條・三浦・遠藤・三條)、関東A(橋田・靄田・菅澤・寺地・宅間)、関東B(廣瀬・滝沢・山田・向後・小川)



男子個人優勝の鈴木健太さんは東北地区の新会員です。曾根先生の教え子です。決勝は片腕の剣士（東海地区の教士七段菊池選手 53 歳）に突きで勝利しての優勝でした。今回は懇親会が無いと言う事で試合に懸ける先生方の参加が多く充実した内容の試合が多かったようです。

団体戦はどの試合も接戦で山場は準決勝の関東 B との試合でした。全員引分けで代表戦になり鈴木健太さんが勝利して決勝に進みました。しかし、決勝では先鋒の鈴木健太さんが負けてのスタートでした。関東 A の先鋒橋田さんはこれまで個人優勝 3 回の猛者であることを説明しておきます。最後は三條八段が勝利して何とか優勝を勝ち取ることが出来ました。この団体戦の優勝には三條歯科院長の祐介さん（三條八段の次男）の功績が大きかったです（大会後の東京の審査会で七段に昇段しました）。仕事の為、土曜日の個人戦には出られませんでした。日曜朝早くに会場入りしてくれました。そして、何よりも応援の皆さんがいなかったら優勝はできなかったと思います。ありがとうございました。また、個人と団体の優勝を獲得でき安堵しているところです。



3 審査合格者の報告

七段 佐々木幹彦先生(福島) 8月21日の新潟審査

三條祐介先生(山形) 11月23日の東京審査

氏家正紀先生(福島) 11月24日の東京審査

昇段された先生方のこれからの益々のご精進とご活躍をご祈念申し上げます。

4 第3回、山形県米沢例会のご案内

2021年の幕開け、新年の地区例会を下記のとおり開催いたします。寒さ厳しい折ですが、皆様と剣を交えて良い年のスタートといたしましょう。全国例会の報告会、8月・11月の中央審査会で七段にご昇段された3名の先生のお祝いもしたいと思います。

メール会員（メールを受信された会員）はメールにて、それ以外は同封のハガキにより1月10日（月）必着で申し込み願います。欠席の場合でも必ず返信してください。コロナ禍と言うこともあり、宿泊が難しい場合は稽古だけでもご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。コロナの状況により場合によっては中止もありますのでご承知お願いたします。

※大会に参加されなかったメール会員の皆様には記念手拭いを別便でお送り致します。

(1) 日 時 1月29日（土）

13：30～14：20 遠藤会長挨拶、会員同士の稽古（新七段元立ち）

14：25～15：15 八段の先生方元立ちによる指導稽古

18：00～ 全国例会報告会・七段昇段祝

1月30日(日)

09:00~10:00 三條先生による講義(稽古で培った力を如何にして試合や審査等の本番で発揮できるようにするか)

10:05~10:35 会員同士の廻り稽古(2分10回)

10:40~11:30 八段の先生方元立ちによる指導稽古

- (2) 会場 三條かの記念館
山形県米沢市城南1-5-27 Tel0238-23-3334
- (3) 宿泊 小野川温泉「やながわ屋旅館」
山形県米沢市小野川町2486 Tel0238-32-2211
- (4) 会費 1泊2食付き 10,000円

5 当地区クラブ副会長(本部理事長)曾根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」、この著書は曾根先生が剣道始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた道のり(剣道修業)をまとめ上げたものです。技術本ではありませんが、自分が学んできたことを咀嚼しながら記載しているので大変分かり易くいんな技の習得にも役立つものになっております。

また、剣道の大先生の話は直接ご本人から聞いた話や実際に体験した内容で臨場感溢れるものになっております。乳井義博先生の乳井道場での話や国際社会人剣道クラブ立上げの話、佐藤忠三先生・堀籠敬蔵先生の武専時代の話などめったに聞けない話なども掲載されております。

これからの自分の剣道を磨くためにも、剣道愛好家や少年指導をするためにも役立つものになること間違いのないと思います。

B5版115ページのカラー刷りとなっております。事務局までお申し込み下さい。一冊1,000円となります。

IGKCの垂れネームとウィンドブレーカーを希望される方は事務局長まで連絡してください。垂れネームは4,200円、ウィンドブレーカーは3,500円となります。多少時間を要しますのでご承知おき願います。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくり下さい。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行 出村大光氏

関東地区クラブ 幹事長 豊田末雄氏

東海地区クラブ 幹事長 井上一久氏

近畿地区クラブ 幹事長 岡本洋子氏

中国四国クラブ 幹事長 金尾静一氏

九州地区クラブ 幹事長 佐藤博喜氏

編集後記

前回に引き続き見学として参加させていただきましたが、会員の剣道の質を高めるために熱心に御指導くださる先生方のお姿に改めて感謝の念を抱きました。そしてそれは素晴らしい伝統文化である剣道を正しく、より良く伝承していくことに繋がる、とても大切なことだということ再認識いたしました。

遠藤会長が常々繰り返し諭してくださるように、ご教授いただいたことを「知っている」だけでなく「身につけるまで」、よくよく探求修練しなければいけない、それが肝心なことだと心に刻みながら拝聴、拝見していた次第でした。(江俣和代)

